

北区葛塚でかつて生産された木綿織物“葛塚縞”の手織り技術と歴史を紹介した図録を刊行しました

図録『越後の木綿織物 葛塚縞 ―受けつがれる手織りの技術―』刊行、販売のご案内

新潟市北区葛塚では、江戸時代後期から昭和40年代後半まで、“葛塚縞”と呼ばれる木綿織物が作られていました。藍でしっかりと染めた太い綿糸で織られた丈夫な布は、深田での農作業で着る野良着用の布として需要がありました。しかし、昭和35年頃からの化学繊維の台頭と農地の乾田化で、野良着の需要は激減し、機織工場は姿を消していきました。

現在、葛塚に機織工場は残っていないため、産業としての復活は叶いませんが、昭和20年代中頃まで、農閑期の農家の女性たちが行っていた木製の手織り機での木綿布作りの技術は、“葛塚縞手織りの会”により受け継がれ、毎週土曜に北区郷土博物館でその活動を公開しています。

このたび、北区郷土博物館では、新潟市北区の特色ある区づくり事業の一環として、手織り技術とその歴史を紹介する図録『越後の木綿織物 葛塚縞 ―受けつがれる手織りの技術―』を作成・刊行し、有償頒布も開始しました。

つきましては、取材及び広報にご協力いただきますようお願いいたします。

【『越後の木綿織物 葛塚縞 ―受けつがれる手織りの技術―』の概要】

- ◇ 編集 新潟市北区郷土博物館
- ◇ 発行 新潟市北区
- ◇ 発行日 令和8（2026）年3月31日
- ◇ 仕様 A4判 80ページ オールカラー
- ◇ 頒布価格 1冊900円
- ◇ その他
 - ・図録を購入された方には、各工程を編集した動画をご覧いただける特典があります。



図録表紙

- ・詳細は、北区郷土博物館ホームページをご確認ください。

URL: <https://www.city.niigata.lg.jp/kita/shisetsu/yoka/bunka/kyodo/webhakubutukan/kankobutsu.html>



- ・葛塚縞手織りの会による手織り技術の公開は次のとおりです。

実施日時：毎週土曜 午後1時半～4時

会場：新潟市北区郷土博物館



新潟市

お問い合わせ：新潟市北区郷土博物館（担当：曾部）

〒950-3322 新潟市北区嘉山3452番地

TEL 025-386-1081 FAX 025-388-6290

E-mail museum.n@city.niigata.lg.jp 月曜休館